

はちきんガールズコンサート

2012年8月18日(土)に高知よりかわいい5人組のアイドル「はちきん・ガールズ」をお迎えして楽しいコンサートを開催いたしました。

患者さん達はかわいいアイドルの登場に、自分の孫をみるようなまなざしを投げかけていました。限られた時間でしたが楽しいひとときを過ごすことができました。
作業療法士/堀田 博行



活動情報

「高知県観光特使」「高知県おさかなPR大使」など、高知県を全国へPRするご当地アイドルとして数多くのイベントに出演されています。

職員旅行

2年ぶりに職員旅行が催され、1班(9/29~30)、2班(10/14~15)、3班(11/10~11)、4班(11/18~19)に別れ黒川・湯布院もしくは博多座・唐津・平戸に向かい、5班(10/21)は日帰りで博多へ向かいました。



編集後記

本年4月からは長崎大学より常勤として酒井先生が、また片山先生も復帰されます。4月は平成25年度のスタートに新スタッフ6名が入職予定ですので先輩方のご指導宜しく申し上げます。新スタッフ紹介は次号の紙面で紹介する予定です。
広報委員長/草野 義一

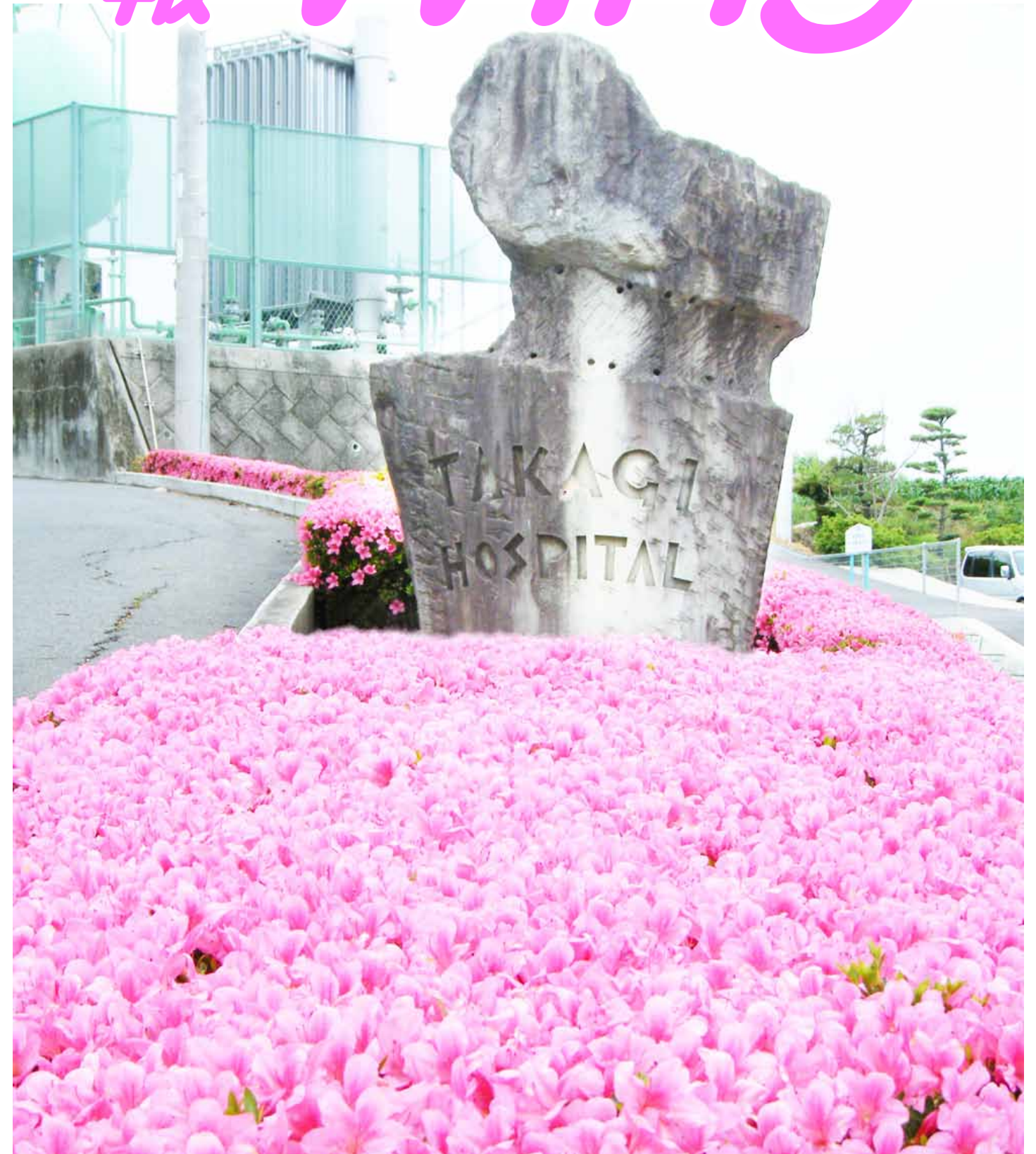
医療法人ウイング概要

病院施設基準	<基本診療料> ◇精神病棟入院基本料15対1(2階病棟/72床) ◇精神療養病棟入院料(3階病棟・4階病棟/120床) ◇看護配置加算(2階病棟) ◇看護補助加算1(2階病棟) ◇診療録管理体制加算 ◇精神科地域移行実施加算 ◇精神科身体合併症管理加算 ◇救急搬送患者地域連携受入加算 ◇重症者加算1 ◇退院調整加算	
	<特掲診療料> ◇精神科作業療法 ◇医療保護入院等診療料 ◇薬剤管理指導料 ◇精神科デイケア	<入院時食事療養費> ◇入院時食事療養(I)
高城病院 診療所「ストスクリニックウイング」 指定訪問看護ステーション「ウイング 大手門」 指定共同生活援助事業「ウイング」 歯科「高城歯科クリニック」	総職員数	役員(医師との兼務者を除く)2名 医師7名 歯科医師1名 薬剤師3名 看護師42名 准看護師35名 看護補助者22名 作業療法士2名 精神保健福祉士4名 臨床検査技師1名 心理技術者1名 管理栄養士3名 栄養士2名 調理員14名 歯科衛生士3名 事務職員21名 作業療法助手・ケア助手・グループホーム世話人等6名 施設課員(営繕・運転・洗濯)12名 総数181名(非常勤含む/兼務者は主たる職務で計上)

2013年3月1日現在(兼務者は主たる職務で計上)

広報WING Vol.29 発行:医療法人ウイング高城病院/島原市中野町内1165番地 TEL0957-62-3105 FAX0957-63-7743 2013年3月29日発行

広報 Wing



高城病院入り口より



医療法人ウイング 高城病院
高城病院ホームページ/ www.takagihp.or.jp
Eメールアドレス/ wing@takagihp.or.jp

Vol. 29

理事長・院長より

歯科やデイケアも軌道に乗り、グループホームⅢも開所します。医療法人ウイング発展の年になることをスタッフ共々願っています。



患者さんの慰問に訪れたはちきんガールズと院長

院長表彰

当院の高城昭紀院長が島原市警察署より表彰されました。



島原警察署署長より表彰を受ける院長

平成25年2月25日高城昭紀院長が、島原警察署長 出口龍男警視より警察活動に深い理解を示し保護業務に多大な貢献をしたというその功労をたたえられ感謝状が贈られました。

日頃より多忙な診療業務の中、昼夜を問わず鑑定の依頼等に応じていた結果です。今回の受賞は患者さんに対する思いやりと奉仕の精神そのものの感謝状です。

事務部長／草野 義一

デイケア科より

2012年4月1日より、精神科デイケアをはじめもうすぐ一年が経過します。その実績をお知らせします。



島原市美術展に出品(散歩で拾った落ち葉で「秋のカーテン」を作成)

平成24年4月に小規模デイケアとして開設し、現在までの登録者は61名で、一日平均17名の方にご利用いただいています。通所者はグループホームに入所されている方以外にも、国見町から西有家町まで島原半島の幅広い地域の方に参加いただいています。

開設当初は、新しい場所や活動に慣れず離席や退席も多い状況でしたが、グループホームや外来受付のスタッフにも協力いただいた事で、今ではお互い誘いあって参加したり、励ましや共感なども多く聞かれるようになり、一つのコミュニティとして少しずつまとまってきたところです。



5月のつつじ見学(大村の松本つつじ園)



長崎ランタナフェスタも見学に行きました

外来治療の一つとして、訪問看護と連携し地域生活を支援し、再発・再入院を防止できるよう、運動やゲーム、料理教室、SST(社会生活技能訓練)、季節行事などを取り入れ、心地の良い居場所となるように集団活動を行っています。

作業療法士／松崎 寛子

2012年九州精神保健学会発表

2012年10月25日・26日、別府国際コンベンションセンター「ビーコンプラザ」にて「第58回九州精神保健学会」が開催され、当法人から以下の4題を発表しました。次回の開催へ向けて、また研究を続けて行きたいと思えます。



別府国際コンベンションセンター入口にて

長期在院患者から地域生活者へ ～デイケア開設から見てきたもの～

このような学会で発表するのは初めてで大変緊張しましたが、発表を通して開設から経過を振り返り、利用者の声や反応からデイケアが果たす役割について考える事ができ、改めて利用者個々のニーズに寄り添った支援の必要性を感じました。また、他施設での実践も参考になるものが多く、今回の学びを実際の支援に活かせるように励んでいきたいと思っています。 作業療法士／松崎 寛子

多くの障害を持つケースがドラマチックに改善した

二度目の参加で落ち着いて発表出来るかと思いましたが、元来上がり症の為か前回より緊張し眠れず発表も早口になり、「なんとか終わった」と言うのが本当の気持ちです。今回の参加で座長より「がんばって看護されていますね」と声をかけていただき、とても嬉しかったです。次回は若い方にも参加してほしいと思いました。 看護師／森本 美保子

けっこう簡単CD・Toxin -カストリジウム・デ・イシムから学んだこと-

初めての学会発表ということで緊張しましたが、精神科としてはなかなか学ぶ機会が少ない内容ということもあり皆様の関心も高く、座長より感謝の言葉を頂きました。今回の発表に際して協力して下さった院長をはじめ医療従事者の皆様に感謝致します。

看護師／大平 則之

身体合併症を持つ急性一過性精神障害

初めて精神保健学会の発表を経験させていただきました。発表に際しては院長をはじめたくさんのスタッフの皆様にも協力していただき本当にありがとうございました。この経験を今後の看護につなげていけたらと思います。

看護師／水永 美由紀

ありがとう島原

東日本大震災で被災して福島を離れ、当院で2年間勤務されていた佐藤さんが帰郷し進学することになりました。

東日本大震災から早くも2年間が経過し、高城病院に勤務させて頂き数多くの知識を学ぶことができ、今後の自分の目標である看護師になる上で非常に有意義な2年間でした。院長先生からはお忙しい中いつも暖かい言葉を掛けて頂き、感謝をすると共に心優しい院長先生のもとで働く事ができた事を誇りに思います。又、スタッフの皆様からも、励ましの言葉を多く頂き有難うございました。島原に来て間もない頃は、家族だけが心の拠り所でした。しかし、高城病院に勤務してからは、スタッフ一人一人に声を掛けて頂いたり、本当に親切にして頂いて唯一島原で自分を正直に出せた場所でした。

正直、今の自分の気持ちは、福島に帰ることができる喜び半分、島原を離れてしまう心細さが半分で複雑です。皆様との縁をこれからも大切に、これからの福島での生活に活かし、3年後看護師になって是非高城病院にご報告をしたいと思っております。皆様も御体に留意して、ますますのご活躍をお祈りいたします。本当に2年間お世話になりました。



南相馬市より来られた佐藤友幸さん

Do sports ウイングカップゲートボール大会

2012年9月26日、恒例のウイングカップゲートボール大会を開催しました。



晴天に恵まれ素晴らしい秋晴れの中で、第16回ウイングカップゲートボール大会が始まりました。試合が進むにつれ出場選手の熱気とともに気温も上昇し、日中は最高気温29.4℃と少し暑い中での大会となりましたが、熱さに負けない素晴らしいプレーが続出いたしました。

結果、優勝は下宮、準優勝は杉谷B、三位は大東東でした。個人賞では、殊勲賞 本多様、技能賞 種村様、高城病院関連チームは敢闘賞を頂き、三賞は全て女性が占めるという女性の活躍が際立った結果となりました。残暑厳しい中での開催となりましたが、携って頂きました皆様のご協力の甲斐もあり、怪我もなく無事に大会を終えることができました。本当にありがとうございました。

統括事務部/林田 憲治